

## 新庄北海道日本ハム ファイターズ 新監督によせて



函館市医師会  
市立函館病院

やま した つよし  
山 下 剛

新庄氏が北海道日本ハムファイターズの新監督に就任されたという。テレビや新聞報道ではいわゆる新庄節が炸裂しているようだが、監督への適性を疑問視する声もあるようである。しかし見かけの派手さとは異なり、実は繊細で積み重ねを大切にプロフェッショナルであるということを描き出す人もいる。日本野球界以外にメジャーリーグでのキャリアもあり、多様な視点を持っている監督が個性豊かな選手たちをマネジメントするのは至極当然な気がする。プロ（野球）の世界での評価には、「勝利」が重要な要素であるから、結果としての成績自体から逃れることは決してできない。以前「マネーボール」というメジャーリーグを舞台にした映画を見た。その概要は、順位の低いチームであっても試合に勝利するという目標を明確化し、それに必要な要素をすべて抽出したうえで統計手法を用いて状況ごとのデータ分析を行いその状況に見合った選手を獲得し、監督が選手起用を適切に行い勝利を積み重ねていくという映画であったと思う。すなわちスーパースターに高い契約金を払えない下位の球団であっても、必要なコストを効果的に使うことで確率的に勝利は想定できるということだ。ある状況で最も活躍が期待できるという確率を持つ選手を必要な状況に起用することは、従来感覚に頼っていたものを統計手法で言語化し確率判断とするということであろう。実は、プロ野球はそのようなデータサイエンス的采配で勝利を予測するゲーム理論によって成り立っているということに当時少し感銘を覚えた記憶がある。北海道日本ハムファイターズはこのセイバートリクスという手法を以前から導入してチーム作りをしているらしい。確かにダルビッシュ選手や大谷選手のようなスーパースターを引き留めることもなくチームづくりを進めていく姿勢は、その指摘どおりではないかとも思う。野球の面白さは理論だけではあるまいが、新庄氏が見かけや言動の派手さではなく、緻密な計算の元にチームを作るのだとすれば来期の成績が楽しみでもあるし、新庄氏見たさの観客も増加するであろう。懸念があるとなれば、瞬間云々に「確率主義的な非情に徹する野球」を実行するということが年間を通してできるか、だろう。同様に医療の世界でも、その評価には何ができるかだけでなく、その結果どうなったかを正確にデータとして把握しておくことが必要だと新監督就任を見て再認識した次第である。

## 寅年に寄せて



室蘭市医師会  
心療内科・精神科

み むら まさ お  
三 村 政 雄

2022年、寅年、かつて「虎のプリンス」と呼ばれた新庄剛志氏が北海道日本ハムファイターズの監督として1年目のシーズンを迎える。現役時代は奇想天外なプレーでファンを熱狂させ、ド派手なパフォーマンス、キャッチーな言動が話題となった新庄氏だが、野球に対する飽くなき情熱と探究心、いつもファンを魅了しようとする姿勢には心から感服するばかりだった。

監督就任が決まった時に彼はTwitter上で「プロ野球の存在意義は、そこの街に住む人達の暮らしが少しだけ彩られたり、単調な生活を少しだけ豊かにする事に他なりません」とコメントしているが、自分も全く同じ考えである。

この20年間、道民は日本ハムの話題に事欠かない毎日を送ってきた。ファイターズの選手達に活力を与えてもらった。1年に1度だけ巨人軍が円山球場に来るのが楽しみだった自分の子供時代には考えもしなかったことである。屋根付きのドーム球場があること、当たり前のようにプロ野球があること、この毎日を我々は当たり前と思っていけない。尊いこと、ありがたいことだと思うべきだ。

その想いを今一度心に刻みつつ、2022年はコロナ禍が落ち着き、皆が安心して球場に行ける世の中になることを祈念する。今年は順位なんか度外視して純粋に野球を楽しみたい。そして新庄監督にはダルビッシュ有、大谷翔平に匹敵するようなスーパースターを育成してもらいたい。いまから球春到来が待ち遠しい。

